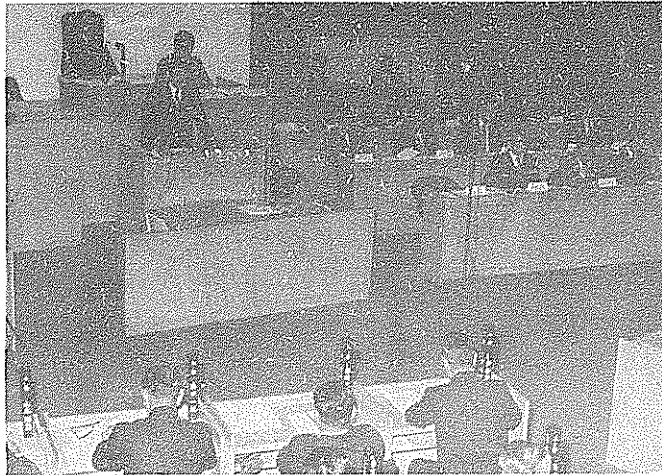


あなたと市政をむすぶ☆☆☆☆☆広報 **なんこく**



一般会計予算

ことしの市政の方向を決める三
月定例市議会は、三月十二日から
二十六日までの十五日間の日程で
開かれ、一般会計予算三十六億五
千四百二十六万円、門田真一教育
次長の助役選任の同意などを決

0.9 割の伸びの緊縮予算

ゴミ袋の無料化など可決

た。

この議会は、杉本新市長が就任
して最初の議会で注目されたが、
狂乱物価のなかで、前年度当初予
算に比べてわずか〇・九割の伸び
と超緊縮予算になった。

また、予算編成の基本姿勢が「
前市長の未了事業をまず完了、同
時に公約実現に取り組み。」ことか
ら新市長のカラーは少なく目玉商
品はゴミ袋の無料化。一世帯に年
間百枚を無償で配付し、狂乱社会
に明るい行政の手をさしのべてい
るのが特色。

ことし一年で地域での対話集会
や科学者、市議会、市民、職員な
ど広範囲の人の意見をじっくり聞
いて、市の未来像づくりに取り組
み、革新市政としての生き生きと
した施策がでるのは来年度といっ
たところのようだ。

歳出では、総予算の約半分十七
億五千三百七十六万円が民生費。
老人医療費一億二千一百万円、老
人年金二百四十万円など老人福祉
に一億七千四百四十四万円。児童

手当は約四百五十人を対象に、千
六百万円。乳児医療費の扶助
八百四十八万円。同和地区の教育
振興として入学支度金、奨学資金
（大学月一万円、高校、各種学校
月六千円）に一千四百万円。西部
保育所の新築に一億一千百万円な
ど。そして国、県の補助、地方債
など三億四千三百八十一万円。地
方改善事業。生活保護費五億四千
二百四十九万円にも市費一億八百
四十九万円を出している。

このほか、ゴミ袋の無料化に四
千二百九十万円、取集の委託二千
八百八十万円などじん芥処理に一
億二千五百九十二万円。し尿処理
の委託などで一千四百三十八万円。
建設事業は、野田線舗装一千百
七十八万円、五本川排水路改修一
千四百七十二万円。林道釣瓶線の
開設九百二十四万円。県道前浜・
土佐山田線（前浜から岩村まで）
に自転車・歩行者の専用道路一千
五百万円。奈路・中谷線一千五百
万円。中島・島田線舗装など二十
件一千七百七十四万円など道路の新設
改良に一億八百九十九万円。四十七
年災害のがけくずれ防災事業三千
五百万円が予算化された。

予算の分析、解説は紙面の
都合で、五月一日号に掲載し
ます。

お知らせ版

4/15 1974 No.170

編集・発行／南国市広報委員会